



エアースイングファン 事務所・教室用  
形名  
AS-407SB・AS-412SB

## 取扱説明書(据付工事説明書付)

販売店・工事店様用／お客様用

本製品は三菱業務用送風機エアースイングファンです。

AS-407SB



グリル(別売システム部材)装着時

AS-412SB



グリル(別売システム部材)装着時

お客様へ

ご使用の前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に据付けてください。  
据付工事は販売店様、または専門の工事店様が実施してください。  
■この製品は単相100V 50/60Hz用です。電源を確認して据付工事を行ってください。  
■この製品には、システム部材(別売)のグリルが必要ですので、別途ご用意ください。  
■この製品は、包装状態においてケーシング変形防止用保護パッド(ダンボール)が取付けられています。パッドを取り付けた状態で設置作業を行い、グリル取付けの際に取りはずしてください。  
■この製品は室内用です。雨水がかかるおそれのある場所には据付けないでください。

据付工事終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

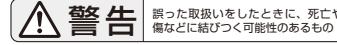
この製品は日本国内用ですで日本国外では使用できません。また日本国外ではアフターサービスもできません。  
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.  
No servicing is available outside of Japan.

## 据付工事説明

工事店様へ

### 1. 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



**警告**  
誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの



**注意**  
誤った取扱いをしたときに、軽怪または建物・機械などの物的損害に結びつくもの

本文中や本体に使われている記号の意味は次のとおりです。



## ⚠ 警告

- 燃燒機器の燃燒部に風を直接当てるな  
い  
不完全燃焼したり、炎が消え一酸化炭素中毒  
を起こす原因。
- ガス漏れに気付いたときは、スイッチの入・切  
しない  
爆発・引火の原因。
- 分解・改修はしない  
火災・感電・けがの原因。  
分解・修理は修理工技術者のいる販売店または  
当社のお問い合わせ窓口にご相談ください。
- 製品を水につけたり、水をかけたりしない  
ショートや感電の原因。
- 運転中は危険なため、吹出口の中や可動部に  
指や物を入れない  
けがの原因。
- 電源が入ったままで運転が停止しているとき  
は、製品には絶対にふれない  
突然運転し始めてけがや感電の原因。

## ⚠ 注意

- 本体にぶらさがらない  
落下によるけがの原因。
- 本体に異常な振動が発生した場合は使用しない  
本体や部品の落下によるけがの原因。
- 爆発性の粉塵やガスの発生する場所または発  
生するおそれのある場所では使用しない  
爆発や火災の原因。
- 浴室など過湿の多い場所(湿度90%以上)  
には絶対に据付かない  
感電・火災の原因。
- 壁から出ている埋込みボルトには据付けない  
振動により製品や建物の破損の原因。
- いかなる据付面に対してもモータ軸水平以外  
振動により製品や建物の破損の原因。
- 角度調整の際、中央の戻り止めナットははずさ  
ない  
落下によるけがの原因。
- 本体の据付工事は十分強度のある所を選んで  
確実に行う  
落下によるけがの原因。

指示に従う

- 定格電圧・定格周波数で使用する  
定格電圧・定格周波数以外で使用すると火  
災・感電の原因。
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金  
屬張りの木造の造営物に据付ける場合、ボル  
トとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電  
気に接触しないように据付ける  
漏電した場合発火の原因。
- お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切つ  
てから行う  
感電やけがの原因。
- 停電のときは必ず電源を切る  
停電復帰後、急に羽根が回り事故を起こす  
原因。
- 漏電ブレーカーを設置する  
漏電のときに火災・感電の原因。
- 可動部にぶれない  
けがの原因。

回転物注意

- 埋込みボルト(吊りボルト)・ナット・ワッシャーは必ず指定のものを使う  
落下の原因。
- 各部品は確実に取付ける  
落下によるけがの原因。
- 電気工事は必ず有資格者である電気工事士が  
内線規程や電気設備技術基準に従って行う。  
接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。
- 開梱・据付け・保守点検およびお手入れの際  
は手袋を着用する  
けがの原因。
- 長時間ご使用にならないときは、必ず分電盤  
のブレーカーを切る  
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。
- 左右同じ角度になるよう、据付板の切欠部を  
確認する  
左右の角度に違いがあると、本体がねじれて  
振動が発生し、異常音の原因。
- 吊りボルトは耐震用振れ止め支持部材にて必  
ず補強する  
振動により製品や建物の破損の原因。

指示に従う

## 2. 手配部品と外形寸法図

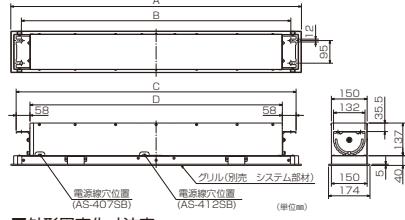
### 2-1. 工事店様手配部品

- ・吊りボルト(M8またはM10)
- ・ナット(M8またはM10)
- ・ワッシャー(外径21mm以上、37mm以下)  
※吊りボルトに合う内径のワッシャーを使用してください。
- ・耐震用振れ止め支持部材
- ・スライドレール(斜め天井据付、壁据付の場合)

1604876HE5001

### 2-2. 外形寸法図

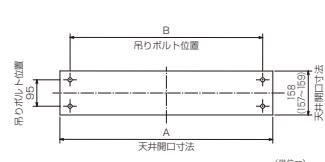
#### ■ 外形図



#### ■ 外形図変化寸法表

(単位:mm)	A	B	C	D	グリル対象機種
AS-407SB	782	693	737	621	AS-GB407B
AS-412SB	1220	1131	1175	1059	AS-GB412B

#### ■ 天井開口寸法図



#### ■ 天井開口寸法図変化寸法表

(単位:mm)	A	B
AS-407SB	766 (765~767)	693
AS-412SB	1205 (1204~1206)	1131

### 3. 据付場所についてのお願い

● 据付場所が悪いと故障の原因になります。次のような場所には据付けないでください。

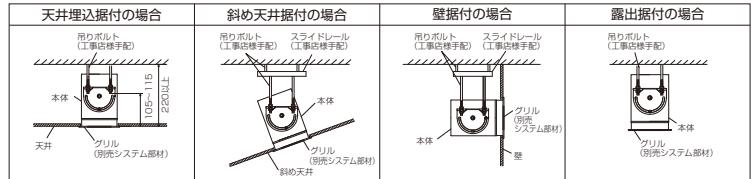
- ・屋外・塗装地帯 0°C以下もしくは45°C以上になる場所
- ・冷凍庫、冷凍室など結水するおそれのある場所
- ・可燃性ガス発生、流入、漏洩、漏れのある場所
- ・常温で相対湿度90%を超える場所
- ・油煙や蒸氣の多い場所
- ・織工場、製陶工場など多量の綿ぼこりや砂じん、粉じんの発生する場所
- この製品は高所に据付不得です。  
製品下部が床下1.8m以上(15m未満)のところに据付けてください。  
低い所に据付けられると、けが・事故の原因となることがあります。  
また、床面から1.8m以上の据付けであっても、作業・活動等により人体に触れる可能性がある場合は、より安全のため人体に触れない高さへ据付けてください。

### 4. 据付方法

本体の据付工事は、振動のない十分強度のあるところを選んで確実に行ってください。  
取付板の角度を調節することで、モータ軸水平方向に対して天井角度に制限なく据付け可能です。

#### ■ 据付例(吊りボルト、スライドレール、耐震用振れ止め支持部材は工事店様手配品です)

(単位:mm)



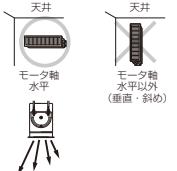
- 天井埋込する場合は、天井面との高さに注意して設置してください。
- グリルと商品本体の位置がずれた状態で無理にグリルを取り付けないでください。
- 吊りボルトは、耐震用振れ止め支持部材にて必ず補強を行ってください。
- 斜め天井据付の場合は、天吊金具の角度を5°ピッチで調整できます。

#### ■ 警告

- この製品は高所取付用のため床上1.8m以上(15m未満)に据付けるのが原因。

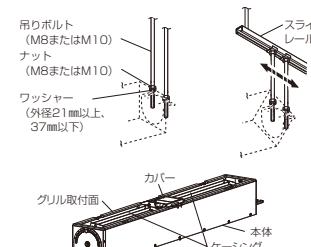
#### ■ 注意

- いかなる据付面に対してもモータ軸水平以外の据付けはしない  
振動により製品や建物の破損の原因。
- 埋込みボルト(吊りボルト)・ナット・ワッシャーは指定のものを使う  
落下の原因。
- 埋込みボルト(吊りボルト)は十分強度のある天井面に固定し壁面には固定しない  
振動により製品や建物の破損の原因。
- 吊りボルトは耐震用振れ止め支持部材にて必ず補強する  
振動により製品や建物の破損の原因。
- 首振り運転する場合、首振り方向の気流到達距離が左右で異なります。  
カタログ・納入仕様書で風速分布を確認の上据付方向を検討してください。



### 4-1. 据付前の準備をする

#### [水平天井の場合]



#### [斜め天井の場合]



- 1. 外形寸法図と据付例を参照し、強固な据付場所に吊りボルト(M8またはM10)を埋め込む。
- 2. 吊りボルトにワッシャー(外径21mm以上、37mm以下)・ナット(M8またはM10)を取付ける。

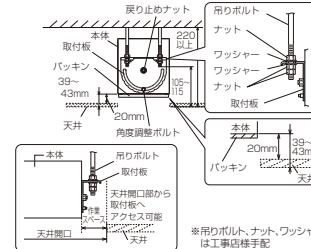
#### お願い

- 吊りボルトの位置が、天井開口穴に対し片寄らないようにしてください。
- 斜め天井・壁据付の場合、スライドレールを使用してください。  
位置調整が容易になります。
- 本体の周囲は300mmの空間を確保してください。作業ができるなります。
- 本体を持ち上げる時は、ケーシング・羽根が直接持たないでください。ケーシング・羽根が直接持たないでください。
- 本体を据付ける際は、ケーシング・羽根が変形するおそれがあります。  
※ケーシング変形防止保護パッド(ダンボール)はグリルを取り付けるまで取りはずさないでください。
- 本体を据付ける時や本体を置く時はグリル取付面を下向きに置かないでください。ケーシング・カバーが変形するおそれがあります。

### 4-2. 本体の据付け

#### [天井埋込据付・露出据付]

#### [水平天井の場合]



#### [斜め天井の場合]



- 1. 天井に天井開口寸法にもとづき開口を開ける。  
※天井開口穴と製品本体の位置にすれがないこと(10mm未満)を確認してください。位置がずれた状態で無理にグリルを取付けてください。音響発生の原因となるおそれがあります。
- 2. 天井開口穴よりあらかじめ埋込んでおいた吊りボルトに取付板を通して。
- 3. 天井と本体の距離を適切な位置に調整する。  
※天井開口穴より吊りボルトに取付けてあるワッシャー・ナットを緩め、本体の据付高さの変更が可能です。
- 4. 本体が水平であることを確認し、ワッシャー・ナットを使用して確実に据付ける。

#### [斜め天井据付の場合・壁据付の場合]

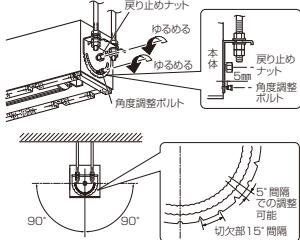
- 1. 水平天井の場合を参考に本体を据付ける。
- 2. 斜め天井・壁に対して本体が平行になるように取付板の角度を調整し据付ける。

#### △ 注意

- 壁から出ている埋込みボルトには据付けない  
振動により建物の破損の原因。

# 据付工事説明 つづき

4-2. 本体の据付け 天井埋込据付・露出据付 つづき



## ■角度調整方法

本体角度は水平から垂直まで5°。おきに調整が可能です。

1. 本体据付後、戻り止めナットをゆるめ、角度調整ボルトを5mm程度出っ張るまでゆるめると本体が動く。
2. 角度調整を行った後、左右の取付板の角度が同じになるよう、に切欠部を目安として角度調整溝に角度調整ボルトを締め付け、戻り止めナットを締め付ける。

### △ 注意

- 角度調整の際、中央の戻り止めナットははずさない落卜による原因。
- 左右同じ角度になると、据付板の切欠部を確認する左右の角度に違いがあると、本体がねじれて振動が発生し、異常音の原因。

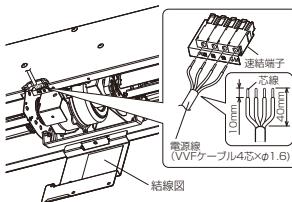
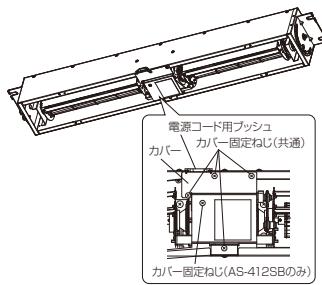
## 4-3. 電気工事

### △ 警告

- 定格電圧・定格周波数以外では使用しない火災・感電の原因。
- 漏電ブレーカーを必ず設置する火災・感電の原因。

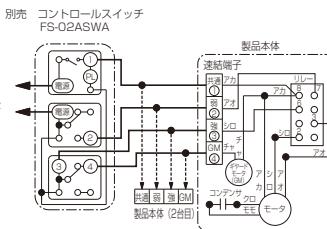
### △ 注意

- 電気工事は必ず有資格者である電気工事士が内線規程や電気設備技術基準に従って行う。
- 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。



### ■ 結線図

※図中の太線、破線部分は電気工事の資格を有する方に施工してください。



## 4-4. グリル据付けの準備をする

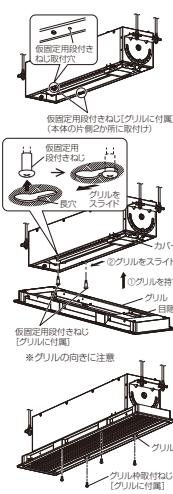
1. 天井と本体の距離が「4-2. 本体の据付け」(表面)の範囲になるよう位置を調整し、本体が天井開口穴の中央になるよう調整する。斜め天井・壁据付の場合、スライドレールで位置を調整する。
2. ケーシング変形防止保護パッド(ダンボール)を取りはずしてください。
3. ケーシングに巻いてある、ダンボールを取りはずしてください。

### お願い

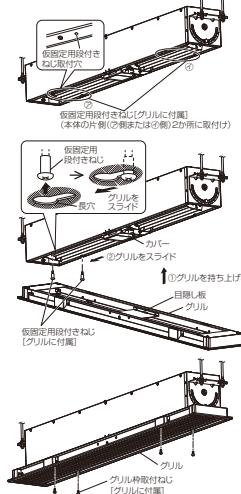
- 天井開口穴と本体の位置にずれがないこと(10mm未満)を確認してください。
- 位置がずれた状態で無理にグリルを取付けないでください。

## 4-5. グリルの取付け

AS-407SB



AS-412SB



1. 本体にグリル付属の仮固定用段付きねじを本体の片側2か所に取付ける。
2. グリルの長穴と仮固定用段付きねじのねじ頭を合わせ挿入する。※グリルを傾けながら挿入します。  
※AS-407SBは、グリルの目隠し板が本体カバーを覆う向きとなるいるか確認してください。
3. グリルの仮固定用段付きねじが掛っていない側を持ち上げながらグリルをスライドし、天井開口にグリルをはめ込む。
4. グリル付属のグリル枠取付ねじを4か所締め付けて、グリルを本体に取付ける。

### お願い

- グリルが落下しますので、グリル枠取付ねじを締め付けるまでグリルから手を離さないでください。

# 取扱説明

お客様へ

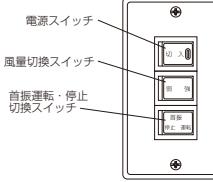
## 1. 安全のために必ず守ること

据付工事説明の「1. 安全のために必ず守ること」(表面)をよくお読みになり、正しく安全に取扱いください。

## 2. 使用方法

システム部材(別売)のコントロールスイッチ(FS-02ASWA)を使用して運転してください。

### ■コントロールスイッチ(FS-02ASWA)の使用方法



電源スイッチ……電源の「入・切」スイッチです。  
電源「入」のとき点灯します。

風量切換スイッチ……風量の「強・弱」を切替えます。

首振運転・停止切換スイッチ……  
「首振運転・停止」の切換えを行います。

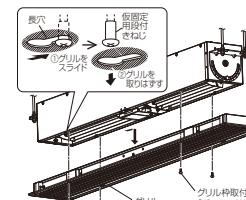
## 3. お手入れ

### △ 警告

- お手入れの際は必ず分電盤のブレーカを切る  
感電やけの原因。

### △ 注意

- お手入れの際は手袋を着用する  
端面などでけの原因。



### ■グリルの清掃

約3か月に1度を目安に清掃する。

- 中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないよう乾いた布でよくふき取ってください。  
汚れのひどい場合は販売店に依頼し、グリルを取りはずして清掃します。  
清掃終了後は、取りはずしと逆の順序で元通り取付けます。  
※グリルの取りはずし・取付けは据付工事説明「4-5. グリルの取付け」を参照してください。

### △ お願い

- お手入れに下記のものを使用しないでください。  
シンナー・アルコール・ベンジンなどの溶剤や酸性またはアルカリ性や塩素系、柑橘系などの植物系の洗剤、カビ取り剤、ナイロンたわし、研磨材や化学ぞうきん(変質・変色する原因になります)

## 4. 保守点検

### △ 警告

- 保守点検の際は必ず分電盤のブレーカを切る  
感電やけの原因。

### △ 注意

- 保守点検の際は手袋を着用する  
端面などでけの原因。

約3か月に1度の清掃の際、下記の点検を行ってください。

項目	点検内容	処置
異常音	運転時に異常な音がしていませんか	モーターギヤードモータ(GM)の交換が必要な可能性があります。販売店・工事店に点検修理を依頼してください。 ※モーターギヤードモータ(GM)の交換が必要な場合、モーターギヤードモータ(GM)の交換が必要な可能性があります。販売店・工事店に点検修理を依頼してください。

## 5. 修理を依頼する前に

下記のような現象が見られる場合、お客様で点検されても直らないときは、事故防止のためブレーカを切り、お買上げの販売店・工事店に点検修理をご依頼ください。費用については販売店・工事店にご相談ください。

現象	原因	処置
通電しても回転しない	ブレーカが切れている	ブレーカを入にする
運転中に異常音や振動がする	羽根、グリルに何か引っ掛かっている 天井とグリルの間に隙間がある	引っ掛けている物を取り除く グリル枠取付ねじを締め付け直す

## 6. アフターサービス

ご不明な点や修理に関するご相談は、お買上げの販売店かお近くの「三菱業務用／産業用換気送風機 修理窓口・ご相談窓口」(別紙)にご相談ください。別紙チラシが不明な場合は下記窓口にお問い合わせください。

■平日 9:00～12:00 13:00～19:00 (土・日・祝・弊社休日以外)  
三菱電機 換気送風機技術相談センター……電話 0120-726-4711(無料)

所在地、電話番号などにつなげては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

### ■補修用性能部品の保有期間

当社は、このエアースイングファンの補修用性能部品を製造打ち後、9年保有しています。  
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 7. 仕様

形名	電源	50Hz				60Hz			
		速調	消費電力(W)	電流(A)	風量(m³/h)	騒音(dB)	起動電流(A)	消費電力(W)	電流(A)
AS-407SB	単相100V	強	9.7	0.1	145	26	0.17	9.6	0.1
		弱	10.5	0.11	115	23	0.18	10	0.1
AS-412SB		強	12	0.12	290	29	0.18	12.5	0.13
		弱	12	0.12	230	26	0.17	295	0.18
								2.9	9.5

※電気特性値はグリル(別売・システム部材)を取り付けた状態での目視調査における最大値です。

※風量はグリル(別売・システム部材)を取り付けない状態での目視停止(真下吹き)におけるオリフィスチャンバー法による静圧OPa時の参考値です。

※騒音はグリル(別売・システム部材)を取り付けた状態での目視停止(真下吹き)における吹出口直下2.5m地点Aスケールの値です。

## 5. 試運転

据付工事終了後、正しく結線されているか確認してください。  
必ずお客様立ち会いのもと、試運転を実施し、電源の「入・切」、風量の「強・弱」、首振の「運転・停止」の動作を確認してください。

また、取扱説明の項に従って、お客様に正しい使い方をご説明ください。

三菱電機株式会社

中津川製作所 T 508 - 8666 岐阜県中津川市朝陽町1番3号